

# 魚と卵



からふとます

*Oncorhynchus gorbuscha* (Walbaum)

137



46. 北海道さけ・ますふ化場

# 魚と卵

## 目次

### 見返し写真 ... さけ・ます稚魚の沿岸域生態を探る —— 噴火湾で ——

---

ベニサケを創り出す .....	根 室 支 場	1
本道における鮭鱒事業協力団体の遷り変り .....	谷 口 達 三	10
源五郎鮎によせて .....	近 藤 賢 蔵	14

### 知識と技術

不受精卵 .....	正 田 豊 彦 末 武 敏 夫	16
プラスチック製卵子運搬箱 .....	菊 地 資 郎	21
さけ・ます卵の死亡時期の判定について .....	武 田 重 秀	23
サイクロキータの駆除について .....	(原 田 滋)	

---

「赤いマフラー」の武田さん勇退 .....	三 浦 誠 末 武 敏 夫	29
-----------------------	------------------	----

### 事業場点描

厚沢部事業場 .....	田 丸 高 夫	30
斜里事業場 .....	(中 村)	30
中川事業場 .....	鴨 志 田 一 彦	31
歌登事業場 .....	(中 村)	32

第2次チリ南部の調査 .....	佐 野 誠 三	33
------------------	---------	----

No. 137

1971

---

開発とは何ぞや? .....		13
事業協会、蓄養地を増設し成績向上を計る、 工事順調一千歳支場 .....		22
石狩のサケ捕獲中止する .....		43

### 編集後記

# さけ・ます稚魚の沿岸域生態を探る

— 噴火湾で —



マルチ稚魚ネットを曳いて餌料生物を調べる

河川から降海したさけ・ます稚魚の沿岸滞留期間や生長については、ある程度の知見が得られている。

しかし、沿岸での生活や、その減耗の機序とか、索餌活動とか沿岸の生育条件に対応する稚魚の生活は充分明らかにされていない。そして現在、積極的に行なわれている人工ふ化事業において、資源の維持と安定が大きな目標とされているが、それらに関する科学的知見も貧弱である。一般に河川の生産力とか、沿岸域の生育条件が稚幼魚の生育や生残りの多寡を規制し、ひいては資源量に反映すると見られているが、これらの機構を解明することは容易でない。しかし今後のふ化事業の発展のためには、その究明は有意義と考えられ、調査区域として遊楽部川と噴火港を選んだ。

この区域は1965年以降、からふとます、さけの資源を殖やすための重点対策が講じられ、併せて適正放流、河川内減耗度合などの調査研究も行なわれており、これを更に沿岸域の稚魚の生態と生育条件の関係まで掘げようとするものである。

これは既に2年前から調査課の小林技官等の研究員と渡島支場の籠技官等事業担当の各技官によって始められ、今年で3年目に入った。



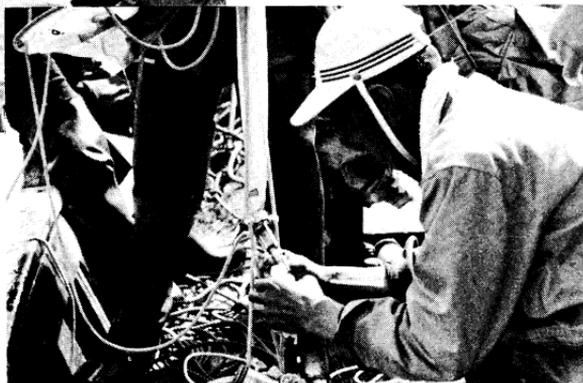
(左上) 巻網を用いて稚魚の分布状態を調べる (船は1.5 tの漁船)



(左下) プランクトンネットで餌料生物を採集する

(右上) プランクトン等の餌料生物を採集する

(右下) 沿岸の物理的条件 (塩分や透過光量など) を調べる



(写真提供 小林哲夫)